



大林一樹  
Kブレイク代表

安田雅憲 (44)  
11セルシオ

水野喜規 (38)  
50アレジデント

窪田繁俊 (35)  
17クラウン

堀田裕之 (38)  
16アリスト

大野祐貴 (30)  
14マジスタ

超辛口!

Kブレイク大林一樹の大盛りごはん スペシャル

# 大林軍団岐阜支部

「大林サンは後輩の僕たちのクルマについて、良いも悪いも全く話してくれない。いつも「ふーん」で終わり。だから、雑誌パワーでマジの意見を聞かせて欲しいんです」とよっちと堀田くんが編集部へ直訴。身内に厳しいことで有名な大林サン。いいですけど、どうなっても知りませんよ〜(笑)。

**K.BREAK**  
tel.072-931-1000  
<http://www.k-break.com>



言われないと分からない  
そんなこだわりが満載!



突っ込み所は  
リムの色だけ。  
その他は◎

SPECIFICATION

●エアロ:(F・S・R・W)ワンオフ ●フンダー:セミプリスター(F)1.5cm(R)3.5cm、アーチ上げ(F)4.5cm(R)5cm ●グリル:30セルシオ用 ●ヘッドライト:Eクラス用+フーガ用プロジェ ●フォグランプ:カールソンCクラス用 ●テールランプ:フルLED ●ボディカラー:オリジナル西屋スペシャルレッド改 ●ホイール:Kブレイク ハイブリッドクロスナイン 19inch(F)9.5J+18(R)11.5J+1 ●タイヤ:ハンコック(F)225/35-19(R)265/30-19 ●足まわり:ワンオフ車高調 ●アーム:(F)ワンオフアッパーアーム(R)テンション、トロード ●キャンバー角:(F)4.5度(R)5.5度 ●ブレーキ:イデアル(F)8pot/356p(R)6pot/330p ●マフラー:J-wolfワンオフ ●室内:特注革張り替え、パネル類フルカーボン

VIP歴12年の窪田くん。ドレスアップのテーマはVIPとユーロの融合。外装はもちろん、抜かりなく内装にも手を入れ、ベテランならではの隙のない一台に。チャレンジしたホイールメイクは賛否両論!?

大林軍団岐阜支部 | SHIGETOSHI KUBOTA 17CROWN

細部のこだわりが半端じゃない。そこがこの17系の強み

後からジワジワくる、味のある一台



美しいプリスター、緊張感あるツライチ。フロント同様、リアバンパーもワンオフ。文句なしのバランスだ。

窪田 これも20セルシオ用で、スポットライトを移植して、ドア連動で光るようにしました。

大林 角がピンピンとユルユルでは別モノぐらい。凄く細かい部分だけど、そこを煮詰めればガタ付き感も抑えられるから、もうひと踏ん張りして欲しいな。



窪田繁俊(35) 17クラウン

窪田 はい! ありがとございます。

大林 あんま褒めたくないけど、窪田のクルマはジワジワくるなあ。マジマジ見ると、かなりバランスが取れてカッコイイ。細かいラインをピシッと通すとか、そういう技もいしい。

窪田 嬉し過ぎて、なんて言ったらいいのかわからないんですけど、本当にありがとございます。



自分好みの色に染め上げた特注の革でフル張り替え。こだわりは半端じゃない。



ライトチューンで性能UP。几帳面な性格の彼らしく、エンジンルームもピッカピカ。



マフラーはJWOLFワンオフ。ピッキリするぐらいの高級品。高音質サウンドが自慢。



VIP全盛期に大ヒットしたインスベクションのエアロミラー。スポッポ移植で今風に。



ホイールはクロスナインで、稀少なプレミアム刻印入り。それを色替え。超賢況。



ワンオフのフラップでユーロスポーティな雰囲気に。フォグはカールソンのCクラス用。

VIPならではの威圧感  
目に見えぬオーラも纏う



ラインもツラも  
文句なし。  
キレイさに脱帽



**SPECIFICATION**

●エアロ:(F)セッション+Kブレイク JDMコンプリート(S)セッション+Kブレイク ゼロカスタム(R)セッション+おっくンスベシヤル(W)ワンオフ ●ファンダー:プリスター+オーバーファンダー(F)6mm(R)10mm ●グリル:オーテックリムジン用 ●ヘッドライト:後期用LED加工 ●テールランプ:後期用LED加工 ●ボディカラー:純正エターナルグレー ●ホイール:Kブレイク ハイブリッドファイブスタ 18inch(F)9.5J(R)12J ●足まわり:Kブレイク車高調加工 ●アーム:(F-R)ワンオフ ●ブレーキ:セッション ●マフラー:ワンオフ ●室内:シート張り替え

メインカーの20セルシオは今なお煮詰め中。その間に完成させたのが、この50プレジデント。よっちらしいツボを押さえた丁寧な作り込み。特に自身初挑戦というプリスター+オバフェンは絶対必見だ。

大林軍団岐阜支部 |  
**YOSHINORI MIZUNO**  
50PRESIDENT

オーバーフェンダーが命。これぞ、正真正銘のVIPカー

文字通り、俺好みの50プレジデント



自然なラインゆえに、プリスターであることに気付かれない。さり気なく主張するため、給油口は凹ませた。

**大林** よっちとは付き合いも長いし、クルマの好みもかなり近いんで、特になんもないうね。  
**水野** え、終わりっすか？  
**大林** あえて突っ込むとしたら、「なぜ、このクルマに乗っているのか」といういきさつ。  
**水野** え、そっちの話っすか？  
**大林** よっちのメインは20セルシオで、途中で32シマに乗ったり、今回も50プレジデントに乗り替わったわけですよ。それはなぜかって言うんですけど……。  
**水野** ホンマに話すんですか(笑)。  
**大林** 歴代の彼女のせい(笑)。毎回、付き合ってたよとすると、彼女のためにクルマを作るんだけど、どういうわけか、やり始めると別れる。  
**水野** はい(笑)。  
**大林** そんで、クルマを置き土産にしないくなる。  
**水野** このプレジも、そのパターン。  
**大林** なんてなんやろね？  
**水野** なんですかね？  
**大林** まあまあまあ、それは置いて置いて、デビューは今年のメッセやね。  
**水野** はい。やることはやってるんだけど、全体的にはシンプルっていうか。あまりごちゃごちゃさせず、フェンダーをボンって出して、エアロはニコイチした上で少し手を入れるって感じで作りました。  
**大林** 正味、こんぐらいが一番カッコイイなって感じのクルマやね。  
**水野** その雰囲気狙いました。  
**大林** エアロはボン付けじゃなくて、多少イジってるんだけど、でも、メインはフェンダーで。そのフェンダーを中心に、車高だったり、エアロだったりを整える感じだよ。  
**水野** はい。プレジは薄くて長いんで、フェンダーはとりあえず大きくしようって。でも、オーバーフェンダーだけでやるとバランスが悪くなりそうだったんで、今回はワングリッドとしてプリスターを作ったから、オーバー



「これからは大林さんについていきます。いつまでも業界のカリスマでいてください。そして、赤マジェに一緒に走る日を楽しみにしています。」  
水野喜規(38) 50プレジデント

エンダーをくっつけた感じですが、プリスターは初挑戦だったんですけど、かなり面白かったです。  
**大林** そうなんやあ。なんか雰囲気違うな〜とは思ってたんだけど。どっから出したん？  
**水野** 前はリアドアの手前から、後ろはテールの手前から、プリスター自体の出し幅は4センチです。  
**大林** めっちゃ自然で違和感がないから、あまり気付かれないかもしれないけど、オーラというか、そういうのが出ているのはプリスターのお陰やね。  
**水野** ありがとうございます。  
**大林** リアバンパーはおっくん？  
**水野** そうです。おっくんさんからエアロ一式とアミラーとブレーキを譲って頂いて、今回はリアバンパーとアミラーとブレーキを付けました。  
**大林** おっくんは俺の親友。よっちにとっては大先輩やね。  
**水野** おっくんさんのプレジを見て衝撃を受け、それで、当時乗っていた13クラウンにプレジ顔面を移植したのが、僕のVIP人生の始まり。  
**大林** その後に乗った20セルシオにはセンチユリー顔面を移植して、さらに、その後に乗った32シマには現行プレジ顔面を移植して、よっちも顔面移植っていうのがあったんだね。  
**水野** そんな方から受け継いだパーツなんで、一生大切にしていきたいなって思っているんです。  
**大林** おっくん、絶対に喜ぶよ。そして、クルマに関しては最初にも言ったけど、よっちのセンスに文句なし。  
**水野** ありがとうございます。  
**大林** 今は水野ボディワークスっていうショップをやっているわけで、だから、このクオリティでお客さんのクルマを、どんどん作って欲しい。  
**水野** はい。お客さんに喜んでもらえるようになるのが、今の僕の目標です。  
**大林** 彼女のためじゃなしにね(笑)。  
**水野** え、最後の締めもそれっすか？  
**大林** ごめん(笑)。



シートは大好きな赤で張り替えている。今後はドアやパネルも進化させる予定だ。



プリスター+オバフェ。巨大なプレジに見合う、絶妙なサイズ感。



マフラーはフルワンオフ。出口はチタンカラーで、さり気なくアクセントをプラスα。



伝説的プレジオーナーのおっくんから譲り受けたリアバンパー。大きなダクトがウリ。



フロントはセッション+KブレイクのJDMコンプリート。フェンダーとの繋がりも美しい。



今回のプレジでは顔面移植は見送り。その代わりに(!?)、リムジン用グリルを移植。



**SPECIFICATION**

●エアロ:(F・R)Kブレイク ファーストエディション+プラチナム加工(S)Kブレイク コンプリート加工(W)ワ  
ンオフ ●フェンダー:オーバーフェンダー(F)4cm(R)8cm ●グリル:枠/ジャンクションプロデュース、フ  
ィン/Kブレイク ●ヘッドライト:クリスタル加工 ●フォグランプ:ツインフォグ ●テールランプ:LED加工  
●ボディカラー:オリジナルカラーSPレッド ●ホイール:Kブレイク ハイブリッドファイブスター 18inch  
(F)10J(R)11.5J ●タイヤ:ビレリ(F)235/40-18(R)255/35-18 ●足まわり:ワンオフ車高調  
●キャンバー角:(F)4度(R)6度 ●マフラー:セッション、中間ワンオフ ●室内:フル張り替え、パネル  
類濃紺パール塗装

元祖VIPに少しでも新しさを融合させるのが大野クンのやり方。オリジナルレッドで派手な印象だが、実は各部はシンプルで渋い作り込みが施されている。14マジェヒと筋12年。根っからの14系好き。

大林軍団岐阜支部 |  
**YUKI ONO**  
14MAJESTA

インパクト抜群のボディ同色仕様で突き進む大野マジェ

マジェに対する愛情は誰にも負けない



F&RバンパーはファーストED+プラチナムのニコイチ。F4・R8センチのオパフェンでワイド感を主張。

純正の新品にちょっとLED加工するぐらい。昔は14マジェが多かったから、人と違いを出すために、あらゆる部分に手を入れていた。けど、今は14マジェが少なくなってきた。だとしたら、違いを出すよりも、純正の良さを生かす方がいいのかなって。  
**大野** 確かに、今となってはクリスタルに新しさを感じる人はいないし、逆に古さを感じる人がいるぐらい。だとしたら純正に戻して、素直に14マジェらしさを出した方がいいのかも。それないですね。勉強になります。  
**大野** あとよ、今の流れから言ってもうちょっとだけキャンパーをつけてもいいと思っただけ。  
**大野** ちょっとこぢんまりしているなって思っただけ、僕的にもキャンパーはやってみたいと思っています。  
**大野** 昔はこれぐらいで良かったんだけど、今はそういう技術があるし、クルマ全体に迫力が出るからね。でもつけ過ぎはいかんよ。

**大野** 真っ赤かやんけ。  
**大野** すいません(笑)。  
**大野** どれだけ赤が好きやねん。  
**大野** すいません(笑)。  
**大野** 時代的に、めっちゃ塗り分けが流行っているにも関わらず、一切塗り分けをしないという。  
**大野** すいません(笑)。  
**大野** 逆に、なんでなん?  
**大野** この仕様でデビューしたのは、ちょうど2年前なんですけど。  
**大野** そやっとな。  
**大野** まずはクルマを覚えてもらうために、インパクトを出そうと思って。それで全身を真っ赤にしたんです。  
**大野** もう、みんな覚えてたよ。衝撃がスゲーから。  
**大野** なんて、そろそろ塗り分けに挑戦しようかなって思っています。  
**大野** 遅すぎじゃない? まあええけど。  
**大野** すいません(笑)。  
**大野** でもね、このクルマは色以外はいい線行ってる。  
**大野** ありがとうございます。自分のにはボンネットが気に入っているんですけど。  
**大野** 20セルシオ風のプレスラインとJPグリルのパテ埋めね。これは昔からの定番。14マジェの純正はプレスラインが真っ直ぐな味で、グリルもちょこんって感じてていて。20セルシオ風に末広りにするとワイド感が出るし、JPグリルは押し出し感があるって、やっぱり、この感じはええね。  
**大野** ですよ。  
**大野** ヘッドライトはクリスタル仕様やね。九州のオーナーが最初にやり出して、当時はスゲー画期的だった。ライトのギザギザを削り取るなんて、誰も思い付かなかったから。  
**大野** 新しさを入れるなら、クリスタルって感じですよ。  
**大野** 当時はね。でも、今はどうなんやろ。俺はもう一周回って、純正の新品を付けるのがいいなって思ってる。



大野祐貴(30) 14マジェスタ

「普段は聞けないような話を聞けて、とても勉強になりました。これからついていきます。今後もし何かエピソードをよろしくお願します。」

**大野** はい。  
**大野** 今って3台目だけ?  
**大野** そうです。親が14マジェに乗っていたので、小学生の時からVIP雑誌を毎月見ている。それもあって18歳の時に14マジェを買って、それから2回箱替えしましたが、ずっと14マジェ一筋なんです。  
**大野** その意味では、お前ってスゲーよな。こんなやつ、なかなかおらん。  
**大野** 大野クンのことは小学生の頃から知っていて、当時から衝撃を受けていました。  
**大野** そう言われると、スゲー歳取った気がするやんけ(笑)。でも、当時の俺らが、小学生だった大野に影響を与えて、それで今も14マジェに乗っているって、こういう話を聞くと、やってきた甲斐があるなって嬉しくなる。  
**大野** だから、赤マジェの復活が本当に楽しみなんです。頑張ってください。  
**大野** 格の違いを見せたいから、待つとけ(笑)。んで、俺の赤マジェが完成したら、一緒にイベントに行っとな。



内装はスパークファイブが手掛けた。紺の差し色が秀逸。特別感があるカッコイイ。



高級感ある鉄板製ワンオフウイング。3Pで角をクイッと立ち上げているのがポイント。



サイドのみ、コンプリート加工。F&Rバンパーと高さを揃えるのが、今後の課題だ。



ホイールはファイブスターで、アルマイト加工で赤く染めている。サイズは18インチ。



グリルをパテ埋めして押し出し感をアップ。枠はJPで、中のフィンがKブレイク製。



ヘッドライトはクリスタル加工。抜かりなく、バルブには傘を。ウインカーはLED仕様。

当時を経験した男が作る  
真正正銘のザ・ビップカー



**SPECIFICATION**

●エアロ:(F)ジャンクションプロデュース+Kブレイク JDMコンプリート(S)ジャンクションプロデュース+Kブレイク(R・W)ワンオフ ●フェンダー:プリスター(F)3cm(R)8cm ●グリル:ジャンクションプロデュース ●ヘッドライト:純正加工 ●テールランプ:純正加工 ●ボディカラー:オリジナルツートン(黒:センチュリー、シルバー:20セルシオ) ●ホイール:バナスポーツG7 18inch(F)10J(R)11J ●タイヤ:ハンコック(F)225/40-18(R)235/35-18 ●足まわり:Tディメンズ ●アーム:(F・R)フルアーム ●キャンバー角:(F)5度(R)6.5度 ●ブレーキ:Kブレイク(F)6pot(R)4pot ●マフラー:J-wolfワンオフ ●室内:フル張り替え

大林サンの背中をずっと見続けている男。グロウレドリーに今なお思いを馳せる。いつか彼らのようなクルマに乗りたい。ザ・VIPカーをテーマに据えたARISTO。当時を知る人間だからこそその一台。

大林軍団岐阜支部 | HIROYUKI HOTTA 16ARISTO

いつか必ず一樹クンの赤マジェと一緒にARISTOで走る

夢は赤マジェのすぐ後ろを走ること



リアバンパーはワンオフ。ボディ色は懐かしのツートンで、センチュリーの黒とセルシオのシルバーを採用。

堀田 よろしくお願ひします。  
大林 こいつはね、なんて言うか……。  
堀田 なんですか(笑)。  
大林 グロウレドリーってのは、滋賀の俺らと岐阜の仲間で作ったチームなんだけど。その岐阜の仲間の後輩が堀田で。  
堀田 はい。  
大林 どういうわけか、その当時、コイツがクソガキだった頃から俺らに引ッ付いてきて。  
堀田 そうです。  
大林 で、今もおると(笑)。だから、付き合いは何年やねん。  
堀田 20年以上になります。  
大林 当時、コイツには無茶苦茶ケスい扱いをしってたんでね(笑)。だから、よく今もあるなって。  
堀田 超スバルタ(笑)。  
大林 けど、そこには愛が……。  
堀田 なかったと思います。  
大林 だね。なかったね(笑)。  
堀田 僕ら世代にとって、グロウレドリーはスーパースター。みんなの憧れ。しがみついても、その輪に加わりたいって思ってた。僕はVIPが命で、その原点がグロウレドリー。だから、どんなに怒られても離れたいと思っただけじゃないんです。  
大林 ふーん。で、クルマは？  
堀田 エアロはKブレイクのJDM。たぶん、世界で一番最初に僕がニコイチしたと思います。  
大林 ふーん。  
堀田 今回の仕様のテーマはザ・VIPカー。自分自身、この感じが好きっていうのもあるんですけど、今の若いオーナーたちって、当時のVIPの匂いを伝えたいなって思っただけ。それをリアルにできるのは、その当時を知っている人間だけ。自分だからこそ、できるんじゃないかなって思っただけです。  
大林 まあ一応、当時から参加してたもんね、堀田は。  
堀田 参加って(笑)。



堀田裕之(38) 16ARISTO

撮影には堀田家全員参加。「この企画の発案者は僕とよっち。まさか本当に実現するとは思っていませんでした。こんな機会はないんで嬉しかったです」。

堀田 リアにはバックフォグを入れたんですけど。  
大林 それはええんやけど、位置がちゃう。もう半分外側で、もう半分下側やねん。でも、なんというか、お前のクルマを20年ぐらい見続けてるけど、今が一番いいんとちゃう。もし、あの当時にこれぐらいのモンを作ってたなら、たいぶ評価が高かったと思う。  
堀田 もしかしら、グロウレドリーに入れてもらえませんか？  
大林 それは知らん。  
堀田 一樹クン、赤マジェ絶対に復活させてくださいな。  
大林 作る作る、待とけや。  
堀田 僕の夢は赤マジェと走ること。僕のARISTOが壊れる前に、マジェスタの話が聞けたらなって。  
堀田 壊れたら直せばええやん。  
堀田 そうなんですけど、で、走る時はすぐ後ろを走らせてください。  
大林 俺の後ろを走りたいヤツは沢山おるからな(笑)。でも、お前ならええよ。



抜かりなく、インテリアもフル張り替え。ちなみに、内装の案を考えたのは奥様。



ホイールは戦友の白木クンから譲り受けたバナスポーツG7。これも欠かせない逸品。



マフラーはJWolfのワンオフ。エキマニから出口まで、手曲げで製作してもらった。



当時流行った汎用のバックフォグを移植。VIP全盛期を知る人には懐かしいパーツ。



エアロはJPIにJDMをニコイチ。ナンバーの位置以外、デザインは一切変えていない。

